

少林拳法



1991
部誌・OB会報
第18号

目 次

・ 挨拶

部長 教授 (化学) 菅野 等
監督 一等海尉 竹本 直忠

・ 学生寄稿

3 7 期主将 高取 哲郎
3 6 期主将 藤岡 史生
3 7 期演武副将 平瀬 慎
3 7 期乱捕副将 久重路 剛
3 8 期 高岡 徳人
3 9 期 筒井 茂広

・ 平成 3 年度防衛大学校少林寺拳法部 部長・顧問等 第 3 7 期幹部 部員

・ 平成 3 年度成果報告

・ 少林寺拳法部年間計画

~~~~~ 奥平会会報 ~~~~~

・ 卷頭言 奥平会会長 清水 重周

・ 平成 3 年度奥平会活動概要等

・ 平成 3 年度会計報告

・ 奥平会名簿

名誉会員

正会員

・ 編集後記

ご挨拶

部長 菅野 等

合掌

湾岸戦争、八月のソ連の革命騒ぎ、ユーゴスラビアの内戦やソ連邦の消滅など今年も世界は激動に揺れました。去年の今頃は、戦争になるのかあるいは戦争が回避されるのかハラハラしていたことを考えると、余りに早い世界の動きに驚くばかりです。国内に目を転じてみても、バブルの崩壊に伴う不景気の到来、PKO問題のもたもた、政治家のスキャンダルの頻発、米の輸入問題とアメリカとの経済摩擦など大きな課題が山積の状態で、歴史の大きな転換点にさしかかっているような気配を感じさせるこのごろです。

このようなときには、若い人、特に学生は世の中の動きに右顧左眊することなく自分を充実させることが重要です。うれしいことに防衛大の少林寺拳法部の学生諸君はOB諸兄が築いてくれた伝統を守り、藤岡主将を中心に良く練習に励み今年も良い成績を上げてくれました。田村、神田両師範、井上先生、竹本監督と顧問のOB諸兄の良い指導も良い成績をあげるのに大きな力になったことは言うまでもありません。文武両道をめざして学生諸君がこれからもしっかり努力してくれるものと思われます。来春から防衛大学の卒業生にも学士号が与えられるようになり、また女子学生が入校するようになります。近い将来には防大の少林寺拳法部も男女混合組演武や女子の部でも最優秀の成績が取れるようになるのではないかと期待されます。

OB諸兄のますますのご活躍を祈りつつ、今後とも暖かいご支援とご指導をお願い申し上げます。

結手

平成3年12月記

監督挨拶

1等海尉 竹本直忠

合 掌

奥平会会員の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

昨年は、部長として永らくお世話になりました丸川先生が退官されましたが、皆様のお厚い御支援により、退官パーティを盛大に開催でき、また、会員の木札を道場に設置することが出来ました。改めて防衛大学校少林寺拳法部の深い絆と、素晴らしさを感じた次第であります。

少林寺拳法部は、毎年全日本学生大会や、関東学生大会等において大いに活躍しており、防大校友会の中でも1, 2の業績を誇るものであります。これも一重に、諸先輩方々が築いてこられた「良き伝統、良き人の和」が今日の少林寺拳法部を支えているものと信じております。私も監督として、早1年が過ぎ、35期生及び36期生の優れた指導力を眼の当りにし、OBの一人として頼もしく、また、OBであることを誇りに思うものであります。

現在は、高取主将を中心に37期生がこの「伝統」を伝えんと毎日精進している最中ですが、「良き伝統」と「良き人の和」を大切にし、皆様と共に、さらに高い目標に日々まい進してまいる所存でありますので、今後とも宜しく御指導、御鞭撻の程お願い申し上げます。

最後に奥平会会員の皆様の益々の御健康と御発展を心からお祈り申し上げます。

結 手

新主将の抱負

37期主将 高取 哲郎

合掌

防大少林寺拳法部員として早3年、この度我々37期が政権を担当することになりました。諸先輩方の築き上げた数々の伝統を引き継いだ今、それに負けぬようと、指導する我々は勿論のこと下級生共々、毎日ひたすら練習に励んでいます。修業とは、まず自分の弱さを知ることから始まり、それにうち克つことによる次なる目標に立ち向かうことと私は考えます。そこで私は『己を知れ』ということを目指しました。今年度は女子学生の入校などと昨今防大の体制が変わりつつある中で、我が部は時代に乗り遅れることなく、防大の拳法部として、少林寺拳法の防大として常に他よりも一步先を行くよう更なる努力を必要としています。これからも37期を先頭に、今まで培った我々の能力を十二分に発揮し、個人のため、クラブのため、日々精進していく次第です。おわりに、諸先輩方におかれましては、今後とも変わらぬ御支援の程、宜しく願い申し上げます。

結手

政権交代に際して

36期主将 藤岡 史生

合掌

政権を37期に譲り渡して、すでに数か月がたち、寒さが一層身にこたえる季節になりました。私は、この一年間「誇りを持って」を最高方針に部を運営してきました。ここまでやってきて来れたのも部長、監督を始めとする諸先輩方々のご尽力のお陰だと深く感謝しております。さて少林寺拳法の教えとは、一体何でしょうか。様々なものがありますが、「自分の言いたいことを言える自分を創る。」に私は、より一層の魅力を感じました。この教えの根底にあるものは自信であります。自信は誇りにつながると私は考えます。汗を流し、苦しいことを敬遠する時流の中で、汗と涙を流さなければ得られないものが少林寺拳法にはあるのです。組織の中には5年、10年先を見据えそれに対応できるような先見進取の能力を必要とする部分と守り続けるべき伝統とに大別されるでしょう。改革の嵐の中にある防大と少林寺拳法において、この相反する2部分を両立させていくことは大変困難であります。まさに37期以降の君達の双肩に懸かっていると思います。

最後に4年間、苦しみも喜びも分かち合い、私を支えてくれた同期に感謝したい。ありがとう。

結手

新政権における抱負

37期演武副将 平瀬 慎

合掌

37期が政権を握り、しばらくの時を経、指導を行う立場に立ち、我々の諸先輩方が、指導のあり方、運営について頭を悩まし、改革を行い、クラブの発展、躍進に力を注がれて来られたということが、副将という、大任を申し送られ、実感しています。

迷っている拳士諸君は、とにかく今の我々についてきていただきたい。とかく指導される側は、自己にとらわれ、全体を見渡すのは無理でありましょう。校内において、モラル他、厳格さの遡減している最中、我々は、リーダー的立場に置かれていることを自覚し、人間的に立派な人になることが、OBの願い、防大少林寺拳法部の願いであると思います。

自分を磨きましょう。

結手

新政権における抱負

37期乱捕副将 久重路 剛

合掌

36期先輩方より政権を譲り受け、我々37期が防大少林寺拳法部を引っ張ってゆくこととなりました。我が部は10期の先輩方からの誇りある伝統があり、学生の中では全国の頂点にたっています。37期も無事、悲願であった全日本団演において最優秀賞をとることができました。このような成績をあげることができたのも36期諸先輩方々のご指導及び部長、監督、顧問、OBの方々の温かい御支援、ご協力のお陰だと思えます。私たちはこれに感謝するとともに、ますます部が発展するよう精一杯努力する次第であります。私たちも入部して3年が経ち下級生を指導することとなりましたが、技術の向上、精神力の鍛錬、部の団結等なすべき事項があり、とまどうこともあると思えますが更なる伝統の継承、発展に全力を尽くす所存でありますので御支援のほど、宜しくお願い致します。

結手

二学年の抱負

38期 高岡 徳人

合掌

私達38期が防大少林寺拳法部に入部して2年が過ぎ、各々が目標を持って日々練習に励んでいます。政権も36期から37期へと移り、部の中核になって雰囲気盛り上げ、後輩たちの良い手本となるよう、また、団演に向けて技量の向上に努め、今後も同期で切磋琢磨し合っていく所存であります。私達38期の目標は、「少数精鋭」であります。私達は、15人という稀にみる少人数で、団演という大きな壁を前にして、不安ではありますが、そこはそれぞれが目標を自覚して、「精鋭」にならんとし、輝かしい防大少林寺拳法部の伝統と実績を誇りに思い、貪欲に心身を錬磨していく所存です。まだまだ未熟ではありますが、諸先輩方、今後とも温かいご指導の程、宜しく願います。38期の皆、団演は「優勝」の二文字しかない。団結して頑張っていこう。

結手

一学年の抱負

39期 筒井 茂広

合掌

我々39期は、30名近くから成っており例年に比べると多人数だと聞いています。皆「強くなりたい。」、「日本一になりたい。」、「人よりもきついことがしたい。」など様々な理由で入部し、日々、技の向上と自己形成を目標に厳しい練習に励んでいます。確かに練習はきつく、苦しいこともあります。そこは同期の団結と友情を持って乗り越え、互いに刺激し合い切磋琢磨して頑張っています。まもなく下級生が入部してきます。その時、上級生として恥ずかしくないよう、しっかりと基本を身につけ、下級生を引っ張っていけるだけの体力をつけねばなりません。しかし、我々はまだまだ経験も浅く、体力も不十分です。しっかりと上級生を信じて、少林寺拳法部の部員であることに誇りを持ち、苦しいときでも笑えるような明るく元気な期にしていこうと思います。

結手

平成3年度防衛大学校少林寺拳法部

部長・顧問等

部長	菅野 等 (教授)
師範	田村 倉蔵
	神田 憲和
監督	竹本 直忠 (28N)
顧問	迫田 直心 (19A)
	小林 実 (20A)
	相良 達也 (26N)
	濱田 秀 (27A)

顧問	時久 寛司 (30N)
	辰己 竜悟 (31A)
	藤岡登志樹 (31A)
	池ノ本八郎 (31A)
	北村 克晶 (31F)
	澁澤 寛 (31F)
	亀山 慎二 (31A)

3 7 期 幹 部

主将	322(3)	高取 哲郎	師範係	422(3)	吉田 文二
演武副将	132(3)	平瀬 慎	主務	421(3)	矢坂 勝良
乱捕副将	433(3)	久重路 剛		442(3)	塚原 敏夫
統制長	222(3)	木下 治信	庶務	121(3)	中居 景
道場長	311(3)	山下 豊	会計	243(3)	兒玉 洋
訓練係	142(3)	岩本 正行	渉外	212(3)	河合 寿士
	242(3)	鈴木 隆弘	安全係	133(3)	石原 寿英
三年係	243(3)	富原 大治	学連係	422(3)	森安 宏徳
二年係	422(3)	吉田 文二	OB係	411(3)	古田 和之
	242(3)	鈴木 隆弘			
一年係	123(3)	大山 剛			
	121(3)	中居 景			
	411(3)	古田 和之			

部員

・ 36期

小隊	要員	専攻	氏名
123	海上	電気	鳥越 要
133	陸上	機械	中村 英昭
133	陸上	機械	村上 至
133	陸上	応物	脇本 祐一郎
142	陸上	応物	榎窪 正和
211	陸上	航工	藤岡 史生
212	陸上	管理	倉田 一示
232	航空	管理	綿森 昭鑑
321	陸上	応化	矢口 勝彦
323	陸上	電気	山田 武彦
323	陸上	電気	岩村 伝法
341	陸上	電気	日高 邦登
342	陸上	応化	福島 浩二
421	陸上	電気	前田 尚男
443	陸上	機械	大北 知史

・ 37期

小隊	要員	専攻	氏名
121	航空	材物	中居 景剛
123	陸上	応物	大山 剛慎
132	陸上	機械	大平 瀬
133	海上	機械	石原 寿英
142	海上	材物	岩本 正行
212	陸上	精機	河合 寿士
222	海上	情報	木下 治信
242	海上	情報	鈴木 隆弘
243	陸上	情報	兒玉 洋
243	陸上	精機	富原 大治
311	陸上	電子	山下 豊
322	海上	通信	高取 哲郎
411	陸上	管理	古田 之良
421	航空	航工	矢坂 勝安
422	陸上	管理	森安 宏文
422	陸上	地球	吉田 文二
433	航空	航工	久重 剛夫
442	航空	地球	塚原 敏

・ 38期

小隊	要員	専攻	氏名
133	陸上	情報	水野 亮二
213	海上	応化	幸坂 直之
222	陸上	通信	奇藤 浩隆
223	海上	電子	高橋 俊之
311	陸上	土木	尼子 将之
312	陸上	地球	黒子 智彰
322	陸上	地球	宮下 克聡
343	航空	航宇	向井 洋史
411	海上	機械	中村 格誠
411	陸上	応物	長濱 徳人
421	陸上	機械	高岡 利彰
431	海上	機械	城戸 滝
431	海上	機械	佐藤 積裕
433	海上	機械	平井 裕
443	陸上	機械	平達 裕

・ 39期

小隊	要員	専攻	氏名
111		理工	田口 義浩
112		理工	松崎 徹生
121		理工	大松 清
121		理工	菅野 庸典
121		理工	杉原 正洋
133		理工	安田 研次郎
211		理工	内田 次郎
211		理工	中村 多朗
212		理工	西田 美嗣
241		人社	久保 敦隆
241		人社	遠藤 英
242		人社	野本 肇
242		人社	福田 哉史
243		人社	福井 健嘉
311		理工	前井 上床彦
311		理工	井上 裕策
311		理工	大塚 晋介
322		理工	小澤 謙雄
322		理工	徳丸 辰也
331		理工	鳥越 涉
341		理工	筒井 茂広
411		理工	三好 英和
421		理工	八巻 紀誠
432		人社	朽木 誠

平成3年度成果報告

関東学生大会

衆敵闘法の部	優秀賞	1 2 3	鳥越 要	3 4 1	日高 邦登
		1 3 3	村上 至	1 3 3	脇本 祐一郎
団体演武の部	最優秀賞	1 2 1	中居 景	2 4 2	鈴木 隆弘
		1 2 3	大山 剛	3 1 1	山下 豊
		1 3 2	平瀬 慎	3 2 2	高取 哲郎
		1 3 3	石原 寿英	4 1 1	古田 和之
		1 4 2	岩本 正行	4 2 2	吉田 文二
		2 2 2	木下 治信	4 3 3	久重路 剛

全日本学生大会

級拳士の部	優良賞	1 2 1	菅野 庸	3 4 1	筒井 茂広
中拳士の部	敢闘賞	1 3 3	中村 英昭	2 1 1	藤岡 史生
准拳士の部	優良賞	3 2 3	井上 勝	3 4 2	福島 浩二
衆敵闘法の部	最優秀賞	1 2 3	鳥越 要	1 3 3	脇本 祐一郎
		1 3 3	村上 至	4 2 1	前田 尚男
団体演武の部	最優秀賞	1 2 1	中居 景	2 4 3	富原 大治
		1 2 3	大山 剛	3 1 1	山下 豊
		1 3 2	平瀬 慎	3 2 2	高取 哲郎
		1 4 2	岩本 正行	4 2 1	矢坂 勝良
		2 2 2	木下 治信	4 2 2	吉田 文二
		2 4 2	鈴木 隆弘	4 3 3	久重路 剛

全自衛隊大会

級拳士の部	最優秀賞	1 2 1	大松 清生	2 4 1	遠藤 英隆
初二段の部	最優秀賞	3 4 3	向井 洋史	4 3 1	城戸 利彰
三段以上の部	最優秀賞	1 3 3	中村 英昭	2 1 1	藤岡 史生

横須賀市民大会

級拳士の部	最優秀賞	2 4 1	久保 敦	2 4 2	野本 肇
	優秀賞	3 1 1	井上 裕策	3 3 1	鳥越 渉
有段者の部	最優秀賞	3 1 1	尼子 将之	4 3 1	佐藤 滝大誠
	努力賞	4 1 1	中村 格	4 1 1	長濱 誠

少林寺拳法部年間計画

1月	上旬 中旬 下旬	寒稽古	9月	上旬 中旬 下旬	夏季競技会 11
2月	上旬 中旬 下旬		10月	上旬 中旬 下旬	
3月	上旬 中旬 下旬	卒業式典 ²² 春季合宿 春季休暇 ²²⁻³⁰	11月	上旬 中旬 下旬	全日本 学生大会 開校記念 体育競技会
4月	上旬 中旬 下旬	入校式典 ⁵ 春季競技会 ²⁸	12月	上旬 中旬 下旬	冬季休暇
5月	上旬 中旬 下旬	関東学生大会			
6月	上旬 中旬 下旬	早慶防定期戦 昇段審査			
7月	上旬 中旬 下旬	夏季 7/3-8/1 定期 訓練			
8月	上旬 中旬 下旬	夏季合宿 夏季休暇 ¹⁻³⁰ 本山合宿			

報 會 平 奥



巻頭言

奥平会会長 清水重周

合掌

間もなく年度末を迎えようとするこの時期、奥平会会員の皆様にはそれぞれの掌にあって年度の仕上げに、また、新年度の準備に、益々御活躍のこととお慶び申し上げます。

私は、昨年8月前会長の中原君と交代に陸幕勤務となりました関係で、極めて実力不十分ではありますが会長を仰せ付かりました。皆様に御挨拶が遅れましたが、本紙面を借りまして、お詫び旁々御挨拶申し上げます。

防大少林寺拳法部も37期生に政権が委譲され、部長の菅野先生はじめ7名のOB（指導官、研究科学生）の御指導の下、新体制をもって練習を開始致しました。日本政府とは違い、政権が変わっても実力は何等劣る所なく、4年度も関東学生大会、全日本学生大会等各大会において、華々しい活躍を為し遂げるものと確信しております。なお、会員の皆様には、また、色々の面で御支援を賜ることになると思われませんが、何卒宜しく願い申し上げます。

さて、奥平会会員は全国各地で支部を設立し、或いは防大少林寺拳法部OBとして、何等かの活動（大半は宴会？）をされていると思います。私も前任地札幌でOB会会長をしておりましたが、札幌・島松・千歳地区合同の行事を敢行する前に、断腸の思いで東京に転勤して参りました。しかし、檜町支部会員は陸海空合わせて49名おります。松島先輩の御指導を得て昨年暮れと新年早々に親睦会を行いました。現役に加えて民間で活躍している19期の東、杉山両君も出席され、旧交を深めるとともに、会員諸氏の現況を伺うことが出来ました。この次は広く東京地区の会員と合同で、と計画しております。檜町支部は地の利を得ておりますので、奥平会の核として会員間やOBと学生の連携に、また、学生活動の支援に、最大限努力を傾注して参ります。学生拳士の心技錬磨の一助になれば幸いです。

末筆になりましたが、会員皆様の一層の御健勝御発展を祈念申し上げます。

結手

平成3年度奥平会活動概要等

1. 丸川前部長御退官に伴いOBの方々のご参加を頂き、2. 2. 16退官行事を終始和やかな雰囲気の中で、実施することが出来ました。
2. 総合体育館に約550余名の奥平会員の氏名を記した木札(約80cm x 約2mの木枠 x 2セット に1名につき4cm x 12cmのスペース)を設置いたしました。尚、36期生以降の木枠を近日中にもう1セット整備予定であります。
3. 現役部員に対するご支援
春季・夏季合宿、関東・全日本学生大会、全国自衛隊大会等に対し支援を実施致しました。ご多忙中、大会等の応援に駆けつけて下さいました皆様に、感謝致します。ありがとうございました。
4. 会員名簿につきましては、関係資料を熟読して、正確に記載するように努めましたが、名簿中会員で所在不明の方、所属・連絡先の不明または間違いが、若干あります。ご存じの方がいましたら、本部宛にご連絡ください。(特に自衛官以外の方の住所を宜しくお願い致します)
5. 会員の慶弔に関する事項につきましては、会員の皆様のご連絡に頼らざるを得ない現状ですので、ご本人もしくは近傍の会員の方からご一報頂きますようお願い致します。

6. 本部連絡先

〒239 横須賀市走水1-10-20
防衛大学校訓練部21中隊 濱田 1 陸 尉(第27期生:庶務)
TEL (専用線) 8-40-2621
(局 線) 0468-41-3810 内2621

平成3年度奥平会本部

会 長	14A	清 水 重 周	幹 事	31A	池ノ本 八 郎
副会長	19A	迫 田 直 心	幹 事	31A	亀 山 慎 二(会計)
会計監査	20A	小 林 実	幹 事	31F	北 村 克 晶
幹 事	26N	相 良 達 也	幹 事	31F	渋 沢 寛
幹 事	27A	濱 田 秀 (庶務)	幹 事	31A	辰 巳 竜 悟
幹 事	28N	竹 本 直 忠 (監督)	幹 事	31A	藤 岡 登志樹
幹 事	30N	時 久 寛 司			

平成3年度会計報告

(H. 2. 12. 21~H3. 1. 10現在)

収 入		支 出	
前年度繰越金	473,907		
丸川先生退官パーティ		丸川先生退官パーティ	719,782
参加費	757,000	記念品	300,000
記念品・木札寄付金	669,350	木札作成費	234,830
OB会費(35期)	714,000	現役支援	
校友会旅費	257,620	関東大会	70,000
利息	25,351	全日本大会	130,000
		全自大会	80,000
		全国大会	50,000
		県大会	4,413
		合宿	93,014
		関東学生OB会連合会関連	22,000
		小南1尉(31期)御逝去	12,036
		幹事会活動費	12,622
		通信事務費	4,114
		連盟總會参加費	30,462
		部誌発行費	221,405
合 計	2,897,228	合 計	1,984,678

残高(収入-支出) = 912,550円 次年度繰越

奥平会名簿

1 名誉会員

職名	氏名	所属等	官職	内線	連絡先
部長	菅野 等	化学教室	教授	2401	〒236 横浜市金沢区釜利谷町945-1 コスモ金沢文庫ルシード411 TEL045-788-5877
師範	田村倉蔵				〒187 小平市学園東町685-15 TEL03-3261-0955
師範	神田憲和				〒272 市川市鬼高2-12-5-705
前部長	丸川武志				〒120 足立区小台2-33-2 TEL03-3919-5910
前校友会部長	土田國保 (第4代学長)				〒115 東京都北区西が丘1-28-4 TEL03-3900-0409
元顧問	奥平正人 奥平会名誉会長				〒828 豊前市小石原392
"	松木 信				〒所沢市泉町908-21
"	前原良弘				〒藤沢市高倉950-5
"	松本 宏				〒110 立川市若葉町1-13-2 けやき台団地18-203
"	穴戸俊之	第2術科学校付			〒237 横須賀市田浦港町24 TEL0468-22-3500
"	森田晃一	空自第1術科学校 総務課長			〒432 浜松市西山町無番地 TEL0534-72-1111
"	辻 勇雄	海洋業務群わかさ 船務長兼副長			〒237 横須賀市船越町7-73 TEL0468-61-8281~8
"	今別府 政実	陸自第8特科連隊			〒860 熊本市八景水谷2-17-1 TEL096-343-3141
"	富野 博	北 空			〒033 青森県三沢市後久保125-7 TEL0176-53-4121
"	米村 ゆかり	装備開発実験隊			〒410-14 静岡県駿東郡小山町須走481-27 TEL0550-75-2311~6

期	別	姓 名	基 地 等	所 属、部 隊 等 (所属年月日)	T E L
1	0	A	葦 田 弘 明	市 谷 東方調査隊 (620316)	
1	0	A	黒 野 耐 男	市 仙 台 第2特科群長 (010630)	
1	0	A	清 水 高 順	川 台 第10特科連隊長 (020401)	
1	0	A	松 島 一 夫	町 豊 陸幕人事補任課2班長 (010801)	
1	0	A	三 井 勝 光	豊 町 防衛研究所所員 (010801)	
1	0	F	鈴木 勝 人	松 第一術科学校 (630318)	
1	0	F	出 田 弘 一	松 第一術科学校研究部長 (030316)	
1	0	N	岡 崎 昭 一	不 明	
1	1	A	勝 野 建 朗	川 西 自衛隊阪神病院 (030323)	
1	1	A	須 崎 了 征	北 熊 第8特科連隊長 (030801)	
1	1	A	広 岡 野 照 夫	新 沼 沼地方連絡部副部長 (030611)	
1	1	A	水 野 照 夫	練 馬 第1輸送隊長 (010801)	
1	1	F	上 田 勇 作	退 職 職 国際デジタル通信千葉地球局 松戸市馬橋339-3	
1	1	F	坂 元 正 昭	退 職 職 石川地連部長 (020316)	
1	1	F	清 水 正 俊	田 谷 第2航空団 (030816)	
1	1	F	藤 田 尚 尚	藤 屋 第13飛行教育団副司令 (031201)	
1	1	N	佐 藤 正 秀	鹿 屋 第211教育飛行隊長 (020920)	
1	1	N	渡 部 貞 吉	檜 町 統幕第5室 (030325)	
1	2	A	新 井 宏 治	死 亡 幹部候補生学校 (030323)	
1	2	A	衛 藤 利 治	前 川 原	
1	2	F	田 中 絃 治	入 置 第4補給処 (030316)	
1	2	F	野 口 昭 徳	檜 町 空幕調査1班長 (020316)	
1	2	N	佐 藤 備 凡	市 谷 幹部学校教官 (030801)	
1	2	N	津 川 保 典	小 須 第203支援整備隊副隊長 (020323)	
1	2	N	橋 田 幸 幸	須 賀 自衛艦隊開発運用開発第3科長 (030823)	
1	3	A	石 原 薩 雄	北 熊 本 第8師団付隊長 (030801)	
1	3	A	白 石 本 成	栃 木 栃木地連募集課長 (030323)	
1	3	A	高 戸 本 之 秋	岐 阜 岐阜分屯地司令 (第348地施長) (030323)	
1	3	A	西 本 田 樹 修	市 谷 需教隊長 (030323)	
1	3	A	益 田 村 修	那 覇 幹部学校 (030801)	
1	3	A	益 田 村 修	那 覇 第1混成団 (020801)	
1	3	F	松 生 剛	福 江 島 西警団第15警群司令 (030801)	
1	4	A	赤 瀬 良 二	富 士 富士教導団第3科 (010316)	
1	4	A	青 藤 正 精	退 職 職 千214八王子市館町館が丘団地 3-6-504	
1	4	A	清 水 重 直	清 水 陸幕輸送課道航班長 (030801)	
1	4	A	清 水 正 勇	中 原 第12対戦車隊副隊長 (030801)	
1	4	A	原 田 敏 男	日 本 北部方面総監部防衛部防衛課長 (030801)	
1	4	A	原 田 敏 男	日 本 第13特科連隊 (010316)	
1	4	F	今 井 岸 男	退 職 職 千719-02浅口郡鴨町益坂1411	
1	4	F	高 須 好 美	退 職 職 千446安城市篠目町古林畔1-19	
1	4	N	森 田 則 広	岩 国 第81航空隊 (020801)	
1	5	A	井 口 昌 之	三 宿 技術研究本部 (010316)	
1	5	A	上 杉 和 義	伊 丹 北部方面隊装備部 (020316)	
1	5	A	大 岡 義 隆	武 山 中部方面隊装備部 (030323)	
1	5	A	岡 長 天 三	武 山 少年工科学校 (030323)	
1	5	A	野 奥 敬 耕	日 宇 本 第13特科連隊第5大隊 (020801)	
1	5	A	加 藤 三 夫	野 野 岡西部地区補給処 (030323)	
1	5	A	藤 田 千 夫	三 千 夫 幹部学校教官 (030801)	
1	5	A	加 藤 居 美	藤 川 旭 第2飛行隊長 (020801)	
1	5	A	遠 土 雅 良	土 東 東北方面警務隊 (010316)	
1	5	A	花 房 晃 照	房 川 土 装備開発実験隊 (020801)	
1	5	A	古 三 利 久 克	三 利 幕付 (防衛研究所) (030801)	
1	5	A	古 三 利 久 克	三 利 丹 中部方面調査隊 (630323)	

期	別	姓	名	基地等	所 属 部 隊	等 (所属年月日)	T E L
1	5	F	島田	徹夫	千歳	第3高射群	(020801)
1	5	F	野間	光健	退		
1	5	F	福島	修柴	榎町	統幕5室	(030316)
1	5	N	今村	二一	佐世	第34護衛隊おおよど艦長	(030123)
1	5	N	中山	啓富	保	海幕(運)運用2班長	(030801)
1	5	N	山崎	富	町	潜水艦隊司令部付	(630816)
1	5	N			越	業務隊付(統幕1班)	(030820)
1	6	A	内山	晃一	榎	中央資料隊第2科	(590801)
1	6	A	岡田	正二	勝	施設学校研究部	(010316)
1	6	A	佐々木	健治	小	業務学校	(010316)
1	6	A	藤内	一一	伊	中部方面隊総務部	(010316)
1	6	A	竹内	準	地	大阪地方連絡部阪東地区隊	(620801)
1	6	A	富本	啓	連	幕付(学生)	(030801)
1	6	A	富平	真	町	陸幕教育訓練課	(020801)
1	6	A	芦岡	広	明	幕付(学生)	(020801)
1	6	F	小笠原	猛	入	中醫団第9移動警備隊	(020516)
1	6	F	八木橋	孝	殉		
1	6	N	阿部	哲一	船	プログラム隊本部付(留米)	(030910)
1	6	N	福島	夫	退	広島市東区牛田3-19-30	
1	7	A	荒木	正定	北	第8師団2部長	(030801)
1	7	A	飯島	保	熊	防衛施設庁(本)	(030801)
1	7	A	小坂	正	榎	陸幕防衛部運用課	(030323)
1	7	A	小藤	吉	榎	中央資料隊	(630502)
1	7	A	佐藤	信	札	北部方面隊人事部	(030801)
1	7	A	小鈴	陽	札	陸幕防衛部防衛研究課	(030801)
1	7	A	高木	正	久	通信学校	(020316)
1	7	A	富安	久	里	陸幕人事部人事計画課	(010801)
1	7	A	中尾	芳	濱	第11特科連隊第2大隊長	(030323)
1	7	A	廣瀬	孝	川	陸幕付(防衛研究所)	(030801)
1	7	A	沢田	誠	町	陸幕人事部人事計画課	(010316)
1	7	A	村田	次	里	通信学校	(010316)
1	7	A	吉川	二	三	技術研究本部企画	(030323)
1	7	F	石渡	幹一	駐	防衛駐在官(軍縮委)	(030601)
1	7	F	福澤	博	在	第1航空団	(030401)
1	7	F	永富	信	浜	東広島市西条町吉行1-40	
1	7	F	西岡	義	退	空幕運用課	(030322)
1	7	F	細田	敏	榎	空幕法務課	(030801)
1	7	F	前田	慎	退	高崎市石原町1729-1	
1	7	F	山本	清	百	百里救難隊長	(030322)
1	7	F			榎	空幕施設課	(630809)
1	7	F			退	登別市美園町2-4-7	
1	7	N	塔岡	道	横	第33護衛隊 よしの艦長	(030601)
1	7	N	西嶋	正	下	下総教育航空群第206教育航空隊	(010324)
1	7	N	久和	清	横	開発隊第1海上訓練指導隊	(030325)
1	8	A	安藤	恒	榎	榎町業務隊	(030701)
1	8	A	上野	正	熊	西部方面隊総務部	(030801)
1	8	A	大河	基	榎	陸幕防衛部	(030323)
1	8	A	野原	春	ヶ	東部方面隊装備部	(020316)
1	8	A	山門	彰	市	114地区警務隊副長	(030801)
1	8	A	野藤	陸	守	第3通信大隊長	(030801)
1	8	A	工藤	重	千	化学学校	(020316)
1	8	A	首藤	敏	大	陸幕装備部	(020316)
1	8	A	紫原	敬	榎	第9施設大隊長	(030323)
1	8	A	千原	和	八	陸幕装備部需品課	(010316)
1	8	A	中島	仁	榎	宮崎地連	(020316)
1	8	A	越田	章	千	東千歳業務隊	(010801)
1	8	A	宮田	秀	千	101飛行隊	(600808)
1	8	A	波	義	仙	東北部方面隊総務課	(030323)
1	8	F	笠原	久	あ	第4高群12高射隊長	(021227)
1	8	F	白尾	樹	い	京都市右京区西京極南大入町54-5	
1	8	F	勸米	幸	ば	空幕運用課	(030801)
1	8	F			の	第2補給処	(030322)
1	8	F			職		
1	8	F			町		
1	8	F			卓		

期	別	姓	名	基地等	所屬部隊等(所屬年月日)	T E L
1	8	N	岩淵 秀樹	舞鶴	第3護衛隊群幕僚	(020813)
1	8	N	近藤 清	鹿屋	第1航空隊	(030325)
1	8	N	平松 誠博	厚木	第51航空隊	(630120)
1	8	N	松井 博	館山	第21検査隊	(030823)
1	9	A	青柳 忍	防衛医	防衛医科大学校	(030801)
1	9	A	迫田 直心	防衛医	第3大隊付指導官	(030323)
1	9	A	園部 武清	防衛医	陸幕調査部(2調)	(610801)
1	9	A	津留崎 朗	防衛医	4師団司令部第1部	(020316)
1	9	A	野村 俊	防衛医	幹部学校	(020801)
1	9	A	廣瀬 和光	防衛医	防衛医科大学校	(030323)
1	9	A	東古 博	防衛医	フォーカスシステムズK. K浦安市入船39-16-501	(010316)
1	9	A	庄前 敏	防衛医	富士学校総務部	(030323)
1	9	A	之屋 星	防衛医	第9施設群	(030323)
1	9	A	三屋 俊	防衛医	東北方調査隊	(030323)
1	9	A	横島 秋	防衛医	第1特科群	(030323)
1	9	A		防衛医	陸幕調査部	(020801)
1	9	F	磯光 三	市ヶ谷	補給本部	(030801)
1	9	F	小曲 一	市ヶ谷	総隊	(030322)
1	9	F	田藤 昌	市ヶ谷	空幕防衛課	(030105)
1	9	F	後杉 章	市ヶ谷	春日市若葉台西3-40	
1	9	F	園山 一	市ヶ谷	北九州市門司東1-1-20-10	
1	9	F	田中 明	市ヶ谷	中部航空施設隊第2作業隊長	(030316)
1	9	F	藤井 裕	市ヶ谷	補給本部	(030322)
1	9	F	松本 睦	市ヶ谷	飛行開発実験団	(030316)
1	9	F	吉本 博	市ヶ谷	6空団	(020801)
1	9	N	濱谷 守	檜町	海幕総務課	
2	0	A	浅原 昭	霞ヶ浦	航空学校	(020316)
2	0	A	楠本 幸	霞ヶ浦	西部方面隊防衛部	(020801)
2	0	A	小林立 喜	霞ヶ浦	第1大隊付指導官	(030801)
2	0	A	高岡 明	霞ヶ浦	陸幕装備部通電課	(020801)
2	0	A	仲原 正	霞ヶ浦	施設補給処	(030323)
2	0	A	半澤 久	霞ヶ浦	陸幕装備部武器課	(010801)
2	0	A	馬場 康	霞ヶ浦	統幕(2室)	(020801)
2	0	A	伏崎 修	霞ヶ浦	外務省出向(統一ドイツ警備官)	(630301)
2	0	A	山形 克	霞ヶ浦	武器補給処	
2	0	A		霞ヶ浦	陸幕人事部厚生課	(010801)
2	0	F	石田 裕	三岐	北警団	(020801)
2	0	F	岸本 昌	三岐	飛行開発実験団飛行隊教育班	(010316)
2	0	F	高林 清	三岐	空幕人事課	(020801)
2	0	F	岳川 美	三岐	空幕運用課	(030322)
2	0	F	南園 宏	三岐	北警団	(020330)
2	0	N	木村 孝	厚木	第51検査隊長	(030322)
2	1	A	大谷 昭	檜町	陸幕教育訓練部訓練課	(020316)
2	1	A	加藤 隆	檜町	第10師団第1部	(030323)
2	1	A	貴志 生	檜町	調本	(020316)
2	1	A	桑原 幹	檜町	統幕学校	(030801)
2	1	A	湖崎 隆	檜町	陸幕人事部人事計画課	(010801)
2	1	A	澤井 次	檜町	西部方面隊防衛部	(030323)
2	1	A	園田 夫	檜町	陸幕教育訓練部教育課	(030316)
2	1	A	高橋 泰	檜町	秋田地方連絡部	(030323)
2	1	A	野中 治	宇都	宇都宮業務隊	(010801)
2	1	A	花田 志	宇都	中調隊	(020316)
2	1	A	浜崎 勝	宇都	第10特科連隊本部	(020316)
2	1	A	渡部 誠	宇都	装備開発実験隊	(020316)
2	1	F	木山 幸	檜町	統幕4室	(030322)
2	1	F	黒沢 豊	檜町	第83航空隊	(030322)
2	1	F	真田 雅	檜町	西部方面航空隊	(030322)
2	1	F	朱永 弥	留市	シンガポール在住	
2	1	F	杉本 行	留市	補給本部	(010117)
2	1	F	鍋島 史	留市	堺市八田西町3-90-173	
2	1	F	沼平 幸	留市	6空団	(030801)
2	1	F	本江 夫	留市	6空団	(020801)
2	1	F	江馬 勝	留市	83航空隊	(030322)

期	別	姓	名	基 地 等	所 属 部 隊 等 (所属年月日)	T E L
2 1	F	松 本	修 司	芦 屋	西部航空施設隊第3作業隊長 (030330)	
2 1	F					
2 1	N	城 山	宏 誠	退 職	第1潜水隊群いそしお副長兼航海長 (030325)	
2 1	N	岡 岡	隆 次	江 千	第一術科学校教官 (030325)	
2 1	N	福 村			101防空隊 (020824)	
2 1	N	山 田				
2 2	A	大 本	吾 彦	南 惠	第105施設器材隊 (030323)	
2 2	A	財 城	建 昭	札 名	北部方面隊防衛部 (030323)	
2 2	A	島 永	正 文	市 東	第4高射特科群 (020316)	
2 2	A	野 永	利 有	ヶ 千	幹部学校 (030323)	
2 2	A	原 野	俊 利	南 東	第7師団3部 (020801)	
2 2	A	原 松	二 宏	富 士	富士学校 (030323)	
2 2	A	田 本	聖 二	札 勝	北部方面隊調査部 (010801)	
2 2	A	村 松		札 勝	施設学校 (030323)	
2 2	A	岡 吉		札 勝	施設学校 (020801)	
2 2	F	木 戸	文 夫	小 入	救難教育隊 (560312)	
2 2	F	小 関	信 伸	入 新	電子開発実験群 (030322)	
2 2	F	酒 井	勝 盛	府 原	第5空団301飛行隊 (010801)	
2 2	F	堂 永	裕 重	檜 中	綫隊 (020316)	
2 2	F	野 永	裕 重	檜 中	空幕通電課 (030801)	
2 2	F	横 村	裕 重	檜 中	空幕監理課 (030801)	
2 2	F	手 村	裕 重	檜 中	空幕調査2課 (020801)	
2 2	N	高 塚	裕 真	江 田	第1術科学校 (030322)	
2 2	N	塚 中	裕 真	田 世	海幕武器課 (030322)	
2 2	N	延 谷	保 生	厚 保	佐世保総監部防衛部 (020801)	
2 2	N	近 延	保 生	厚 保	第3列線整備隊長 (030325)	
2 2	N	内 延	保 生	厚 保	開発隊 (020801)	
2 3	A	奥 野	和 敏	朝 霞	輸送学校 (030323)	
2 3	A	谷 崎	敏 弘	久 保	第31普通科連隊中隊長 (010801)	
2 3	A	広 塚	政 和	大 富	第45普通科連隊中隊長 (020801)	
2 3	A	日 丸	三 宏	富 東	装備開発実験隊 (010801)	
2 3	A	三 高	若 秀	久 千	第11普通科連隊中隊長 (020801)	
2 3	A	若 山	岩 德	久 千	通信学校学生 (030323)	
2 3	A	三 杉	若 德	久 千	第35普通科連隊中隊長 (010801)	
2 3	A	岩 山	清 文	久 千	陸幕人事部補任課 (020316)	
2 3	A	浦 田	清 次	小 倉	第40普通科連隊重迫中隊長 (030323)	
2 3	F	池 邊	正 二	市 退	幹部学校付 (030801)	
2 3	F	馬 添	正 二	ヶ 職	鹿児島市山田町2440-92	
2 3	F	川 シ	誠 一	退 留	タイ王国	
2 3	F	シ 松	一 口	池 学	技術研究本部集団 (020801)	
2 3	F	宮 田	義 章	池 学	空幕装備課 (010801)	
2 3	N	井 久	雄 義	市 鹿	幹部学校付(学生) (030322)	
2 3	N	井 野	義 謙	ヶ 須	第1列線整備隊長 (030902)	
2 3	N	中 野	孝 啓	田 島	たかつき機関長 (021215)	
2 3	N	下 中	行 治	江 山	第1術科学校付(専攻科) (030322)	
2 3	N	元 山	生 和	山 梨	山梨地方連絡部 (020323)	
2 3	N	四 元	和 生	山 梨	海幕調査第1課 (020323)	
2 4	A	浅 野	博 義	市 明	幹部学校学生 (020801)	
2 4	A	稻 田	尚 志	ヶ 野	航空学校 (030323)	
2 4	A	久 保	美 美	岡 町	陸幕装備部武器化学課 (030801)	
2 4	A	大 田	美 美	福 土	第4師団第3部 (010801)	
2 4	A	金 田	慎 美	浦 谷	武器学校 (030801)	
2 4	A	芹 川	慎 美	ヶ 谷	中調隊 (030501)	
2 4	A	高 澤	介 則	退 職	(株)東京アイシーエス	
2 4	A	常 田	則 義	退 職	小田原市千代475-1 (040323)	
2 4	A	中 西	誠 護	名 寄	陸幕防衛部研究課 (010316)	
2 4	A	洲 堀	康 誠	ヶ 寄	第3普通科連隊中隊長 (020801)	
2 4	A	堀 内	誠 巴	ヶ 寄	幹部学校学生 (020801)	
2 4	A	山 田	誠 巴	ヶ 寄	施設学校 (030323)	
2 4	A	山 田	純 次	ヶ 寄	幹部学校学生 (020801)	
2 4	A	川 田	純 次	ヶ 寄	陸幕防衛部研究課 (030323)	

期	別	姓	名	基地等	所 属 部 隊 等 (所属年月日)	T E L
2	4	F	藤 秀	府 中	松隊 (030801)	
2	4	F	水 尚	市 ヶ 谷	補給本部 (020416)	
2	4	F	出 潔	市 ヶ 谷	中通群 (020820)	
2	4	F	中 利	市 ヶ 谷	空幕通電課 (030801)	
2	4	F	藤 希	市 ヶ 谷	第4航空団 (020322)	
2	4	F	山 真	那 那	第83航空隊 (020122)	
2	4	N	小 川	横 須 賀	第2潜群幕僚 (030801)	
2	4	N	佐 伯	舞 須 賀	みねゆき航海長 (030805)	
2	4	N	中 村	大 須 賀	あきぐも砲雷長 (010324)	
2	4	N	長 谷	大 退		
2	4	N	川 田	退 職	第6航空隊 (010801)	
2	4	N	山 本	退 職	北九州市小倉南区湯川3-8-6	
2	5	A	石 川	檜 町	中央資料隊技術科 (030801)	
2	5	A	内 元	市 ヶ 谷	幹部学校学生 (030323)	
2	5	A	大 正	富 士	富士学校特科部 (010801)	
2	5	A	小 野	市 ヶ 谷	幹部学校学生 (020801)	
2	5	A	小 野	市 ヶ 谷	武器学校 (630801)	
2	5	A	小 佐	土 浦	富士学校普通科部 (630316)	
2	5	A	石 伯	富 城	九州地区補給処 (030801)	
2	5	A	重 田	富 日	富士学校普通科部 (020801)	
2	5	A	草 川	本 原	第13特科連隊 (020801)	
2	5	A	若 本	日 本		
2	5	F	安 芸	市 ヶ 谷	幹部学校付 (030801)	
2	5	F	尾 崎	三 市	北空 (030801)	
2	5	F	坂 本	市 ヶ 谷	補給本部 (020801)	
2	5	F	藤 吉	三 市	北警団 (020322)	
2	5	N	内 山	佐 世	はるな航海長 (020801)	
2	5	N	龍 谷	世 保	たかしお船務長 (030801)	
2	5	N	河 村	世 保	業務隊付筑波大研修 (国際政治) (030325)	
2	5	N	原 高	世 保	あざぎり (030325)	
2	5	N	高 島	厚 木	厚木プログラム業務分遣隊 (020206)	
2	6	A	石 川	美 幌	第6普通科連隊第3中隊 (630316)	
2	6	A	内 海	立 川	立川業務隊付 (NEC出向)	
2	6	A	小 野	目 黒	技研第一研究所 (030326)	
2	6	A	及 川	富 土	装備開発実験隊 (010316)	
2	6	A	金 子	土 浦	武器学校教育部 (010316)	
2	6	A	河 原	練 馬	第一通信大隊	
2	6	A	坂 野	富 士	富士学校機甲科部 (020801)	
2	6	A	谷 彦	富 士	富士学校普通科部 (020316)	
2	6	A	滝 沢	富 退	札幌市中央区南12西16 滝沢 由子方	
2	6	A	友 中	市 ヶ 谷	東部方面隊調査部 (030801)	
2	6	A	松 田	市 ヶ 谷	北九州市小倉北区中井3-4-17	
2	6	A	山 下	退 職	第一機甲教育隊中隊長 (030323)	
2	6	A	田 隆	旭 門	第2高射特科大隊中隊長 (030323)	
2	6	A	田 宏	勝 川	施設学校 (030323)	
2	6	A	吉 石	千 板	第3施設大隊中隊長 (030323)	
2	6	A	石 山	板 妻	第3陸曹教育隊 (上曹本部) (030323)	
2	6	F	池 高	入 間	4補整備 (631212)	
2	6	F	澤 木	退 職	横浜市金沢区町屋町15-3	
2	6	F	福 島	築 城	8空団 (030801)	
2	6	F	星 川	市 ヶ 谷	8空団 (010316)	
2	6	F	米 子	市 ヶ 谷	幹部学校付 (030801)	
2	6	N	市 坪	江 島	第1術科学校付 中級 (艦用兵) 学 (030325)	
2	6	N	上 野	厚 須	厚木プログラム分遣隊 (専修科) (030215)	
2	6	N	佐 藤	横 須	うみぎり (030312)	
2	6	N	杉 山	横 須	せとゆき航海長 (030325)	
2	6	N	道 清	横 須	ゆきしお船務長 (030325)	
2	6	N	平 野	神 戸	阪神基地隊付 (神戸大修士: システム科学) (030801)	
2	6	N	水 野	神 防	海幕経務課 (030201)	
2	6	N	相 良	防 大	第2大隊222小隊指導教官	
2	7	A	大 石	市 ヶ 谷	中調隊 (630316)	
2	7	A	大 場	市 ヶ 谷	幹部学校学生 (020801)	
2	7	A	緒 方	退 職		
2	7	A	大 居	市 ヶ 谷	幹部学校学生 (030323)	
2	7	A	大 川	退 職	千葉県船橋市習志野1-3-25 緑ハイツ2号	

期	別	姓	名	基	地	等	所	属	部	隊	等 (所属年月)	T E L
2	7	A	行	事	正	市	ヶ	谷	資	統	(030801)	
2	7	A	角	南	児	市	ヶ	谷	幹	部	(020801)	
2	7	A	長	合	友	市	ヶ	谷	技	研	(030326)	
2	7	A	津	田	浩	相	模	原	第	3	(011013)	
2	7	A	濱	田	司	湯	布	院	第	2	(030323)	
2	7	A	馬	場	秀	防		大	第	2		
2	7	A	舞	原	和	退	千	職	第	1	(610317)	
2	7	A	山之	上	己	東	ヶ	歳	幹	部	(030801)	
2	7	A	米	山	郎	市		谷	調	査	(030323)	
2	7	F	足	立	諱	入		間	航	空	(020110)	
2	7	F	兼	古	修	新	田	原	飛	行	(030820)	
2	7	F	甲	斐	太	檜		町	調	本	(020423)	
2	7	F	蔵	田	人	退		職	東	京		
2	7	F	沢	村	徹	退		職	東	京		
2	7	F	高	野	治	檜		町	空	幕	(010922)	
2	7	F	西	山	昭	退		職	ア	メ		
2	7	F	堀	田	治	岐		職	第	2	(010301)	
2	7	F	元	山	嗣	三		阜	警	空	(030716)	
2	7	N	小	川	昌	佐	世	保	さ	わ	(030325)	
2	7	N	五	領	宏	横	須	賀	横	須	(030325)	
2	7	N	葉	口	介	江	田	島	第	1	(030801)	
2	7	N	中	里	巧	鹿		屋	第	1	(620130)	
2	7	N	益	田	也	厚		木	厚	木	(030801)	
2	7	N	山	田	士	厚		木	厚	木	(030820)	
2	8	A	畦	地	勇	小		平	調	査	(020316)	
2	8	A	足	立	彦	土		浦	武	器	(020801)	
2	8	A	岡	沢	彦	北	惠	庭	第	1	(021001)	
2	8	A	北	原	章	富		士	戰	車	(020316)	
2	8	A	幸	野	明	旭		川	第	2	(030323)	
2	8	A	古	賀	明	真	駒	内	第	1	(030323)	
2	8	A	鶴	見	市	退		職	横	濱	J-1405	
2	8	A	永	井	介	青		森	大	阪	2-16-11	
2	8	A	日	高	行	北		本	第	5	(600320)	
2	8	A	藤	原	修	北	熊	本	第	8	(020319)	
2	8	A	三	好	夫	京	千	本	第	7	(030323)	
2	8	A	矢	野	宏	東	ヶ	谷	幹	部	(030801)	
2	8	A	湯	浅	郎	富		士	富	士	(030323)	
2	8	F	今	井	邦	浜	松	南	第	1	(620907)	
2	8	F	神	山	夫	退		職	キ	ャ		
2	8	F	越	水	隆	退		職	幹	部	(020322)	
2	8	F	白	水	哉	奈		良	偵	察	(030801)	
2	8	F	末	水	己	百		里	偵	察		
2	8	F	中	平	也	退		職	千	代		
2	8	F	山	島	一	退		職	千	代		
2	8	F	吉	田	嗣	入		間	航	空	(020730)	
2	8	F	米	田	己	退		職				
2	8	N	鈴	本	巧	退		職	栃	木	4-1550-84	
2	8	N	竹	本	忠	防		大	訓	練	(020801)	
2	8	N	西	路	謙	退		職	横	須	(030325)	
2	8	N	内	田	明	横	須	賀	八	戸	(020608)	
2	8	N	河	津	稔	八		戸	八	戸		
2	9	A	浅	川	樹	退		職	日	産		
2	9	A	青	原	光	青		川	第	9	(020326)	
2	9	A	蝦	大	史	前		原	幹	部	(010316)	
2	9	A	小	敷	彦	退		職	化	学	(630316)	
2	9	A	屋	井	美	大		職	通	信	(020801)	
2	9	A	駒	井	彦	退		職	武	器		
2	9	A	佐	竹	幾	久		里	第	2	(610320)	
2	9	A	坂	井	也	吉		井	陸	幕	(020319)	
2	9	A	新	保	德	旭		井	北	部	(610320)	
2	9	A	託	摩	広	檜		川	第	7	(610320)	
2	9	A	立	林	剛	千		町	第	2	(610320)	
2	9	A	津	田	明	東		千	第	2	(610320)	
2	9	A	中	村	之	函		岡	第	4	(020326)	
2	9	A	古	田	悟	福						

宿舎1-202
 下吉 標.1624-10.
 7311-38
 百思
 501
 501

期 別	姓 名	基 地 等	所 属・部 隊 等 (所属年月日)	T E L
2 9 A	甲斐 正義	名 寄	第4高射特科群317高射中隊 (620801)	
2 9 A	水 上 人仁	檜 町	陸幕調査(2別) (030725)	
2 9 F	熊田 修実	千 歳	第2航空団 (030801)	
2 9 F	高松 政	間 日	航空救難団 (020116)	
2 9 F	西村 均	春 日	第2高群 (030322)	
2 9 N	柏木 均	田 浦	横補付 特修(潜水)学生 (030801)	
2 9 N	川上 和美	退 職		
2 9 N	山崎 浩一	吳	吳監副官 (030725)	
3 0 A	池永 博和	市 ヶ 谷	東方通信群 (030325)	
3 0 A	岩熊 司晴	大 退	武器補給処 (030325)	
3 0 A	魚住 康	立 川	東京都大田区大森西2-11-8第2莖荘2	
3 0 A	魚住 浩晴	立 川	東方航空隊第1飛行隊 (630321)	
3 0 A	龜笠 文夫	前 退	幹部候補生学校 (010801)	
3 0 A	菅野 俊	退 職	東京工業大学(檜町業務隊付) (010316)	
3 0 A	土屋 甲吉	幌 退	第13施設群 (620321)	
3 0 A	中中 大	洋 助	第3特科連隊第4大隊 (620321)	
3 0 A	中中 川	行 帯	第1対戦ヘリ隊 (030325)	
3 0 A	中中 森	行 北	東方航空隊第12飛行隊 (620321)	
3 0 A	西林 良典	美 幸	第4普通科連隊 (620321)	
3 0 A	田福 宏	幸 町	陸幕調査(2別) (030323)	
3 0 A	津本 洋	伊 退	神戸大学(伊丹業務隊付) (010316)	
3 0 A	宮本 善	高 遊	西部方面航空隊第8飛行隊 (620321)	
3 0 A	矢本 祐	高 正	西部方面会計隊 (620321)	
3 0 A	山口 芳	遠 健	第25普通科連隊 (030325)	
3 0 F	栗田 尚	殉 職		
3 0 F	黒後 健	退 小	職 職	
3 0 F	高橋 親	入 新	第6航空団 (030801)	
3 0 F	西橋 彰	入 新	中防群防管隊 (610910)	
3 0 F	橋本 猛	退 新	第5航空団 (010417)	
3 0 F	本吉 憲	退 新	第2術科学校 (020801)	
3 0 N	鈴木 達	退 職	三菱重工(株)	
3 0 N	時久 寛	防 大	理工学研究科 (030325)	
3 0 N	百崎 彦	防 大	123航空隊 (020119)	
3 0 N	湯浅 秀	防 大	いしかり航海長 (030107)	
3 1 A	石丸 威	帶 防	第5施設大隊第2中隊 (630321)	
3 1 A	池本 八郎	防 退	理工学研究科 (020322)	
3 1 A	大島 龍	防 退		
3 1 A	久保 慎	防 退	第4大隊第443小隊指導教官 (030323)	
3 1 A	佐野 敏	防 退	第1戦車群第304戦車中隊 (630321)	
3 1 A	野野 光	防 退	東北方ヘリ隊 (630321)	
3 1 A	推田 治	防 退	中方ヘリ隊 (630321)	
3 1 A	田口 健	防 退	第305武器直接支援隊長 ()	
3 1 A	辰巳 直	防 退	理工学研究科 (020322)	
3 1 A	辻中 竜	防 退	第11高射特科大隊 (010324)	
3 1 A	川本 政	防 退	第8後方支援連隊 (020326)	
3 1 A	本橋 哲	防 退	北方航空隊第11飛行隊 (630321)	
3 1 A	久富 博	防 退		
3 1 A	岡登 志	防 退	理工学研究科 (020322)	
3 1 A	井井 健	防 退	第13特科連隊 (630321)	
3 1 A	吉武 一	防 退	第3輸送隊 (630321)	
3 1 F	阿部 博	府 防	気群 (030822)	
3 1 F	北村 克	防 防	理工学研究科 (020322)	
3 1 F	小南 良	防 防		
3 1 F	近藤 良	防 防	第3航空団 (020518)	
3 1 F	沢野 寛	防 防	理工学研究科 (020322)	
3 1 F	野野 隆	防 防	第6航空団 (020806)	

期 別	姓 名	基 地 等	所 属 部 隊 等 (所属年月日)	T E L
3 1 N	蝦名 治司	大横須賀	第41 護衛隊さわゆき (030114)	
3 1 N	岡田 伸岳	須賀	第46 護衛隊うみぎり (030312)	
3 1 N	大井 義一	館横世	124 航空隊 (030129)	
3 1 N	甲斐 久保	佐東	練習艦隊かとり (021210)	
3 1 N	久保 修浩	世京	第2 護衛隊群くらま (021201)	
3 1 N	迫田 文	東	東京通信隊 (030809)	
3 2 A	市来 道啓	板妻	第34 普通科連隊 (010321)	
3 2 A	大塚 裕也	札礼	北部方面会計隊 (010321)	
3 2 A	大塚 和真	旭退二	第2 高射特科大隊 (010321)	
3 2 A	小原 小男	退職	航空大学校 宮崎市大字赤江飛江田 学校寮	
3 2 A	小田 益	日海	第13 特科連隊 (010321)	
3 2 A	上川 誠孝	八退	第46 普通科連隊 (010321)	
3 2 A	境 明彦	山退	中方ヘリ隊 (010321)	
3 2 A	更神 雅	退職	第17 普通科連隊 (010321)	
3 2 A	田口 芳	退職	奈良県橿原市和田町32-4	
3 2 A	竹内 裕	退職	和歌山県東牟婁郡古座町中湊531	
3 2 A	村田 亮	八退	世田谷区上祖師谷1-1-2 和田ハイツ102	
3 2 A	中平 裕	留馬	中部方面航空隊 (010321)	
3 2 A	福元 昌	久相	中資付 (030323)	
3 2 A	福山 毅	高	第24 普通科連隊 (010321)	
3 2 F	植村 茂	三小	第4 特科連隊 (010321)	
3 2 F	鈴高 秀直	入	第1 2 戦車大隊 (010321)	
3 2 F	高山 直	防府	第2 混成団施設隊 (010321)	
3 2 F	山渡 誠	北	第3 航空団 (630913)	
3 2 N	河上 康幸	世保	第6 航空団 (630913)	
3 2 N	澤藤 英朝	退不	中警団中防群防管隊 (630913)	
3 2 N	松本 志	不	空救団 (030426)	
3 2 N	尾 明	明	第1 2 飛行教育集団付 (010316)	
3 3 A	池田 誠喜	練馬	第34 護衛隊ちくご (020319)	
3 3 A	大津 勝	布院	調布市若葉町3-9-3 YHP 備台寮	
3 3 A	柿野 幸也	仙退	第1 武器隊 (020321)	
3 3 A	近藤 哲也	千退	第3 特科群 (020321)	
3 3 A	郡山 樹正	布院	東北方面武器隊 (020321)	
3 3 A	谷口 直博	退職	練馬区北町3-15-5 日興パレス東部練馬305	
3 3 A	富中 喜一	退職	第7 特科連隊 (020321)	
3 3 A	半澤 勇修	退職	第3 特科群 (030321)	
3 3 A	久野 吾	退職	芙蓉総合リース千270 松戸市常盤台 松尾寮	
3 3 A	山本 智司	退職	鹿児島市大明丘2-29-8	
3 3 F	新崎 秀樹	不築	第6 普通科連隊 (020321)	
3 3 F	岡田 文也	退与	第11 普通科連隊 (020321)	
3 3 F	田中 一秀	座松	千500 岐阜市加納南陽町3-12	
3 3 F	荒高 俊浩	北北	岡山県倉敷市大内1073	
3 3 F	増田 友之	松	第25 普通科連隊 (020321)	
3 3 F	御厨 敏裕	須賀	第109 教育大隊 (030801)	
3 3 N	鶴澤 直樹	不横	第8 航空団 (010919)	
3 3 N	関口 輝	大不	南警隊 (与座岳) (010919)	
3 3 N	高橋 真	下不	教育集団司令部付 (010919)	
3 3 N	西野 幸一	下不	教育集団司令部付 (010919)	
3 3 N	山邊 裕	船	教導高射隊 (030801)	
3 3 N	渡邊 一浩	越	第1 護衛隊群しらね (021022)	
3 3 N	山邊 幸一	越	第2 2 支援整備隊 (021022)	
3 3 N	山邊 幸一	越	教空団司令部付学生 (030225)	
3 3 N	山邊 幸一	越	練習艦隊 (030321)	

期 別	姓 名	基 地 等	所 属 部 隊 等 (所属年月日)	T E L
3 4 A	石 黒	太美英	神 町	第6飛行隊 (030321)
3 4 A	篠原	康一	福 恵	第4後方支援連隊 (030321)
3 4 A	田中	正勝	北 太	第1戦車群 (030321)
3 4 A	田丸	都正	信 太	第37普通科連隊 (030321)
3 4 A	筒井	鋭達	都 城	第43普通科連隊 (030321)
3 4 A	能平	智治	退 職	〒708津山市勝田町19
3 4 A	林室	理一	真 駒	第11戦車連隊 (030321)
3 4 A	水永	正部	退 職	〒814福岡市城南区田島4-24-32
3 4 A	松 永	康 則	新 発	第30普通科連隊 (030321)
3 4 F	羽 田	充 伸	浜 松	航空教育集团司令部付 (020918)
3 4 F	小空	卓人	習 志	第1高群 (020918)
3 4 F	河原	成治	与 野	航空教育集团司令部付 (020918)
3 4 F	田代	秀也	与 座	南警隊 (020918)
3 4 N	富 山	修 良	横 須	練習艦隊司令部
3 4 N	丹 羽	満 良	横 須	練習艦隊司令部
3 5 A	安 藤	和 幸	霞 目	東北方面航空隊 (030928)
3 5 A	木場	元大	伊 丹	第36普通科連隊 (030928)
3 5 A	馬淵	貴史	福 島	第11施設群 (030928)
3 5 A	福本	博氏	山 口	第17普通科連隊 (030928)
3 5 A	中本	尚明	ヶ 谷	第32普通科連隊 (030928)
3 5 A	坂本	雄一	旭 川	第9普通科連隊 (030928)
3 5 A	中村	健太郎	高 田	第2普通科連隊 (030928)
3 5 A	袖之原	公和	遊 都	西部方面航空隊 (030928)
3 5 A	川嶋	重之	北 宇	東北方面航空隊 (030928)
3 5 A	成田	重 淳	習 志	第1空挺団 (030928)
3 5 A	瀬戸	口 淳	八 野	第5高射特科群 (030928)
3 5 F	中 澤	武 志	浜 松	航空教育集团司令部付 (030912)
3 5 F	堀 澤	修二郎	浜 松	航空教育集团司令部付 (030912)
3 5 N	三 浦	則 文	江 田	海上自衛隊幹部候補生学校 (030322)
3 5 N	中原	俊 行	江 田	海上自衛隊幹部候補生学校 (030322)
3 5 N	森 泉	周 和	江 田	海上自衛隊幹部候補生学校 (030322)
3 5 N	加 藤	寛 和	江 田	海上自衛隊幹部候補生学校 (030322)

防衛大学校少林寺拳法部奥平会会則

(名称組織)

第1条 本会は、防衛大学校少林寺拳法部奥平会（以下「奥平会」という。）と称し、防衛大学校少林寺拳法部（以下「少林寺拳法部」という。）に卒業時所属していた者及び一時所属していた卒業生で入会を希望する者をもって組織する。

(目的)

第2条 本会は、会員相互の親睦を図ること、少林寺拳法部の発展向上に資することを目的とする。

(事業)

第3条 本会は、前条の目的を達成するため次の事業を行う。

- (1) 会報の発行
- (2) 会員相互の融和団結の促進
 - ア 総会の開催
 - イ 部隊等における支部の設立と活動に対する支援
 - ウ 会員の慶弔に関すること
 - (ア) 結婚 … 祝電
 - (イ) 死亡 … 花輪、弔電
- (3) 会員の修業の便を図ること
- (4) 少林寺拳法部への支援
 - ア 合宿
 - イ 関東、全日本、その他の大会
 - ウ OB杯大会
- (5) 会員による現役部員の激励及び応援等の支援に対する謝礼
基準 2000円
- (6) その他、本会の目的を達成するため会長が必要と認める事項

(経費)

第4条 本会の経費は、会員より徴収する会費及び寄付等の支援金によるものとする。

(会費)

第5条 20期以前の会員は一律5000円、21期以降の会員は卒業時における学生手当の2分の1（1000円未満切捨て）を終身会費として納入するものとする。

なお、一旦納入した会費は返還しない。

(特別会費)

第6条 前条に定めるほか、特別の出費を要するときには、その都度会員から特別会費を徴収する。

(本部)

第7条 本会の本部は、防衛大学校（少林寺拳法部）内に置く。

(名誉会員)

第8条 会長は、次に掲げる者を役員会に諮り名誉会員にすることができる。

- (1) 防衛大学校長
- (2) 少林寺拳法部の部長、師範、顧問及びその経験者
- (3) その他、少林寺拳法部の発展に功績のあった者

(役員)

第9条 本会の役員は、会員のうちから選出する。役員任期は1年とし、再任を妨げない。

2 本会に次の役員を置く

- | | |
|------------|--------|
| (1) 会長 | 1名 |
| (2) 副会長 | 1名 |
| (3) 幹事 | 本校在職会員 |
| (4) 会計監査委員 | 1名 |

(会長)

第10条 会長は、本会を代表し、会務を総理するとともに、顧問会との連絡調整にあたる。

- 2 会長は、会員の中から副会長、幹事、会計監査委員を任命する。
- 3 会長は、原則として防大または防大近傍勤務の会員の中から前任者の推薦によって選考する。

(副会長)

第11条 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるとき之を代行する。

- 2 会長は、防大勤務の会員の中から適任と思われる者を副会長に任命する。
- 3 会長が、防大内に勤務する場合、副会長を置かないことができる。

(幹事)

第12条 幹事は、会長、副会長を補佐し、会務を処理する。

- 2 会長は、防大に勤務する会員を総員幹事に任命する。

(会計監査委員)

第13条 会計監査委員は、年度末及び臨時に会の会計を監査し、会長及び会員に報告する。

2 会計監査委員は、防大又は防大近傍勤務の会員の中から会長が任命する。

(運営)

第14条 本会は、総会の決議に基いて運営する。但し、急を要する事項、若しくは軽易な事項は、会長が役員会に諮って決することができる。

(総会)

第15条 総会は、原則として年1回会長が召集する。但し、必要と認めるときは、臨時に召集することができる。

2 総会は、会員15名をもって成立する。

3 総会の議長は、会長がこれに充たるものとする。

4 総会の議事は、出席した会員のうち過半数以上の賛同により、成立するものとする。

(会務)

第16条 本会の会務を円満に処理するため、会長は幹事の中から書記2名を選任する。

2 書記は、庶務と会計とに分掌して処理する。

3 庶務担当書記は、主に庶務事項に関して会務を分掌する。

(1) 少林寺拳法部の試合日程、合宿等を会員に知らせ、会員の応援を促す。

(2) 少林寺拳法部と協力して、年1回会報を作成し、会員に部の状況を知らせるとともに、大きな大会等主要な行事の際には、その都度状況を知らせる。

(3) 役員名簿を作成し、各役員に配布する。

4 会計担当書記は、会費を管理し、主に会計事項に関して会務を分掌する。

(1) 会費を徴収する。

(2) 会費納入名簿を作成する。

(3) 会費未納者に対し、会費の納入を促す。

(4) 毎会計年度終了後、特別会費を徴収した場合はその都度、決算報告を作成し総会の承認を得た後、会員に通報する。

(会計)

第17条 本会の会計年度は、1月1日に始まり12月末日をもって終わる。

2 本会所管の会費は、确实なる金融機関(防衛庁共済組合を含む)へ預け入れるものとする。

(会費の使途)

第18条 本会の会費は、次のことにより使途するものとする。

- (1) 会報の発行
- (2) 会員の慶弔に関すること
- (3) 少林寺拳法部への支援
- (4) 会員等による少林寺拳法部支援等に対する報償費
- (5) 奥平会、少林寺拳法部の円滑なる運営上必要と認め、会長が役員会に諮り賛同を得た事項

(地区連絡網)

第19条 会務の円滑化を図るため、各地区に連絡網を整備する。作成単位は陸上自衛隊においては方面隊、海上自衛隊においては地方総監部、航空自衛隊においては航空方面隊、退職者については本部とする。作成責任者は各所在先任者とし連絡網作成の都度本部あて報告するものとする。

(退会)

第20条 会員で退会しようとする者は、会長に申し出るものとする。

(規則の改正)

第21条 本会の規則は、総会によって変更することができる。

2 前項の場合、出席会員の3分の2以上の賛同を得なければならない。

附 則

この会則は、平成元年4月1日から施行する。

注・慶弔費・会費については
将来検討する予定

編集後記

合 掌

OBの皆様には、ご健勝にてお過ごしのこととお慶び申し上げます。

また、日頃から貴重な時間をさいてのご協力、ご支援ならびにご指導頂きましてまことにありがとうございます。

さて、ここに防大少林寺拳法部誌第18号の発刊を迎え、平成3年度の輝かしい成果を報告することができ、非常な喜びとするところであります。

我が部も創立27年目をむかえ、防大校友会のリーダー格として、その地位を不動のものとしております。

これからも現状に甘んずることなく、部員一同、輝かしい伝統を受け継ぐべく、たゆまぬ努力を続けますので、OB各位には、何かとご多忙とは存じますが、変わらぬご支援、ご高配をお願い申し上げます。

最後に本誌を編集するに当たり、ご指導して下さった部長、監督、顧問の方々をはじめ、投稿してくれた各学生に感謝し、編集後記といたします。

結 手

平成3年度OB係

護身練胆

精神修養

健康增進

